

議事要旨

1 会議名	第2回 吹田市資源リサイクルセンター指定管理者候補者選定委員会
2 次第	(1) 開会 (2) 答申内容の審議 (3) 答申 (4) 講評 (5) 閉会
3 開催日時	令和5年11月9日(木) 午前10時～午前11時30分
4 開催場所	吹田市文化会館 第1会議室
5 出席委員(50音順)	具志堅委員、千葉委員、永田委員、原田委員、良永委員
6 公開・非公開の別	非公開
7 非公開の理由	吹田市情報公開条例第7条第3号及び同条第4号に該当する情報を取り扱うため

8 発言等の要旨	<p>(1) 答申内容の審議</p> <p>ア 第三者モニタリング・評価シートの取りまとめ方法等の説明 各委員が作成した第三者モニタリング・評価シートの取りまとめ方法を説明した。また、各委員の第三者モニタリング・評価シートは、指定管理者にとって、有益な意見となるので、評価者名を伏せ、提供する旨を説明した。</p> <p>イ 審議 委員 評価シート1-(1)-イ「自主事業を適切に実施している」で、第三者コメント内の、「吹田市の環境施策を理解し」の部分は、コメント案から消えている。1-(1)-アの主催事業にも同じ意見がある。同じ意見が主催事業と自主事業の両方に記載されているのに、主催事業だけに記入した理由を説明されたい。</p>
----------	--

事務局 「施設の設置目的に合致した事業」部分を取り出して、主催事業にも、自主事業にも記載している。

委員 主催事業及び自主事業の両方に記載のあった「社会のニーズに合わせ、モノのシェア・リユースを促進する新しい生活様式を支える仕組みづくりなど、普及啓発に終わらない発展的な事業の実施を期待します。」という意見も、評価シート1-(1)-イに記載してはどうか。

事務局 修正する。

委員 各委員の評価シートを取りまとめた結果、第三者評価欄のほとんどはAだが、2か所Bとなっている。その2か所において、Aと評価した委員から、意見等はないか。

委員 異論なし。

委員 評価シート2-(2)-ア「利用者サービス向上及び利用促進を図るための取組を行っている。」をBとした理由等を述べてほしい。私の場合は、以前にも SNS 等の新しい媒体の利用を検討すべきという意見をしたが、進歩が見られないのでBとした。おそらく、リサイクルセンターに、得意な人がいないからだと推測する。内部にいないなら、アルバイト、アウトソーシングする等、お金を使って得意な人を確保すべきだ。私も Instagram を活用しているが、若者・学生と比べると、様々な面で大きな差がある。若者・学生は、特に情報を発信することがすごく上手だ。そのため、若者を活用・採用することが必要だ。こういう検討を是非、すぐに実施してほしい。他の委員はどうか。

委員 高齢者の利用が多いことを課題としているならば、SNS による情報発信ができていない、Wi-Fi 環境が整っていない、アンケートでは年齢層のデータを取っていない等の理由からBとした。

委員 私はAとした。SNS の活用について、以前からの指摘事項とは知らなかった。SNS の活用は、結構、難しいと感じている。類似の施設で SNS の活用状況が、同じようだったので、この評価をした。

委員 若い世代、ファミリー層など、主な利用者層以外に訴求していくための手法をもっと検討したほうが良い。現在の SNS の情報発信は一方向的なものになってい

るので、双方向的なものにされたい。

委員 他の施設の状況はどうか。

委員 天王寺動物園だと Instagram で、子供に人気のある動物の動画や写真を発信している。例えば、工房で作業している動画や作品を Instagram に投稿すれば良い。

委員 他市の博物館や資料館の学芸員が魅力ある情報を発信していた。こういった施設を参考にすればよい。結局のところ、施設に会いたい人がいるかどうか大事である。イベント告知といった定型的な案内だけではなくて、「今日は良い天気ですね。万博公園の木々が色付いてきました。」等を発信するのも良いと考える。一度、こういった情報発信の方法等について研修の機会を持つことを勧める。また、LINE、Instagram、YouTube、TikTok 等の SNS の利用方法は、個人により使い方が違うので、同じ情報を全てに流しても、同じ情報が2重、3重に来るだけで、見てもらえない。こういった使い分けは学生が上手なので、余った委託料を使って、学生アルバイトを雇うということも検討されたい。また、工房を活かして、定期的に補修方法の講座を情報発信しても面白い。

その他、イベント等の申込受付のオンライン化や成果報告の情報発信にも注力されたい。

委員 チラシやパンフレット等の従来の情報発信方法だけでは、利用者呼び込めない。ましてや、若い人に環境問題等の情報を届けるためには、「新しい媒体をいち早く取り入れていく。」「先取りする。」といった意気込みが無いと、ますます遅れていく。特記事項欄で構わないが、鋭意努力する旨を記載されたい。

委員 1-(3)-ア「省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。」欄に記載のある「最新の機器の導入」については、LED 照明を想定して記載した。黄ばんだ蛍光灯が多く設置されていた。LED 照明への入替検討が必要。省エネという観点もあるが、黄ばんだ照明では、古びた印象を受け、魅力の低下につながりかねない。指定管理者だけでは解決できないので、市と協議する必要がある。

事務局 資源リサイクルセンターの一部は LED 化している。大部分はそうっていない。

委員 本庁舎の状況についても、説明されたい。

事務局 本庁舎は、令和3年度にLED化した。令和12年度までに大規模改修等が行われない施設については、環境部主導による公共施設の一括LED化を進めている。

委員 大学でも、LED化を進めている。授業終了後の誰もいない教室で照明がついたままになっていることが多い。そこで、人感センサー付きのLED化を進めている。現在のところ100%には達していない。

委員 省エネ機器ではないが、マイボトル用の給水機は設置しているか。

事務局 A棟4階に設置している。

委員 他市では、冷水だけでなく、お湯が出る給水機を導入している。お子さんのミルクを作ることができるので、更新時に検討されたい。

事務局 現在は、火傷のリスクがあるため、常温と冷水が吐水する給水機を設置・展開している。

委員 先行事例があるので、再度、検討することを勧める。

事務局 給水機は、使い捨てであるペットボトルを使わずに、リユースできるマイボトルを使ってほしい、持ち歩いてほしいので、市内で設置・展開している。

委員 給水機・マイボトルの情報発信も、指定管理者と協力して実施してはどうか。指定管理者単独でのSNSの運用は大変かもしれないので、市の公式SNS等に指定管理者のイベントを掲載し、連携してはどうか。SNSにおける市との連携を特記事項欄に記載することも検討されたい。

委員 余った委託料を市に返還していることから、経営を合理化していると判断し、1-(2)-ア「管理経費縮減に向けての努力がされている。」の評価をSとした。今後は、余った委託料(約100万円)を、事業の拡充に活用することも検討されたい。

事務局 例えば、掲示物、施設サインの補修費用、パンフレットの刷新等、具体的な活用例を盛り込むと、指定管理者にとってわかりやすいものとなる。

委員 若いスタッフを獲得するためにも、余った委託料を職員の賃上げに使ってはどうか。それが難しいのであれば、余った委託料を学生アルバイトの雇用財源として活用することを考えてほしい。

その他に、第1回の会議の時に、アート系の NPO 法人との連携という話も出た。それを進めるためにもお金が必要になる。アーティストの仕事を作ること、地域活性化の観点等から必要と考える。

委員 努力の結果、委託料を約 100 万円余らせたと推測する。しかし、使うとなると 100 万円は、大きな金額ではない。そのため、それ自体で何かするというより、次の新たな展開につながる使い方をしてほしい。若い人たちを巻き込み、そこから新たな事業が展開するようなことを見込んだ使い方を希望する。

事務局 2-(2)-エ「施設の利用案内や事業の開催案内をパンフレットやホームページ等により、適切に行っている。」に、「SNS 等での情報発信を一方的に行うのではなく、ターゲットに対し戦略的・双方向的に行われることが期待される。」との意見が記載されている。「双方向的」のイメージや具体例を記載することはできないか。

委員 情報を一方的に流すのではなく、情報を受け取った側の反応、意見、批判等を吸収できるシステム。情報は流したが、届いたかどうかを検証できないものではだめだ。

委員 2つあると考える。1つは、アクセスログ解析と考える。利用者等が、どんな情報に反応しているか、内容のカテゴリー、発信する曜日、時間帯でアクセス数が増えるかを確認すること。これは戦略という部分にも関わってくるし、データが取得できることが、ある種の双方向性でもある。

もう1つはコメントをもらったり、シェアされたりすること。情報の1次発信のみならず、どう2次発信を促していくかが非常に重要だ。普段から、例えば定期的に又は毎日、何か情報発信するのが良い。

例えば、先日、東大阪で万博のプレイベントがあった。そのイベントでは、この施設と関係のある、京都の NPO 法人のリユース食器が使われていた。「そのリユース食器の洗浄はくるくるプラザで行っています。くるくるプラザのリユース食器のサービスが、こんなところでも役に立っています。」といったことを発信したら良い。指定管理者の事業だけを発信するのではなくて、「どのように世の中の役に立っている」といったことを発信することで、例えば、「良い取り組みですね。」という声が返ってきたりする。そこに対して「皆さんの地域のイベ

ントでもリユース食器を使ってくださいね。」と返答して、つなげていく。一例だが、こういうことだと考える。

事務局 「財団の給与水準は低いため、給与のベースアップについて検討してください。」という意見についてはどうか。

委員 委託料の使い道ということであれば、サインや事業等の拡充費用にはなるが、給与のベースアップまではカバーできないのではないかな。

事務局 次期の指定管理期間を見据えたベースアップの検討の必要性を示唆する意図で記載している。

事務局 指定管理者が事業費を削って、給与費に充当する可能性も考えられる。今回、議論にもあがっている、「魅力アップ、情報発信等の課題を克服したうえで、給与のベースアップについても検討してはどうか。」という趣旨の意見を付記してはどうか。

委員 「給料のベースアップについて検討してください。」等の内容は記載した方がよい。

委員 委託料の増額に関する内容とセットで給料のベースアップに関する内容についても記載した方がよい。

委員 魅力ある事業に関して言うと、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前は、JICA 等を通じた海外からの視察が多かったことが、この施設の特徴だと聞いている。今後、大阪・関西万博の開催が控えており、また、サーキュラーエコノミーという考え方が国内でも普及しつつある中で、焼却に頼った日本のごみ処理は、「ガラパゴス化している。」「遅れている。」と言われている。そんな中、改めてリサイクルについて考えるためには、十分に意義のある、有用な施設である。そこで、海外への情報発信についても積極的に実施してはどうかと考える。これまでの海外からの視察受入れ事務がルーティーンとなっていた場合、一度、新型コロナウイルス感染症の影響でストップすると、その影響が無くなったからといって、もとに戻らないこともある。そこで、今後も海外からの視察を受け入れようとするならば、海外への情報発信も意識した事業を検討されてはどうか。

委員 大阪・関西万博があるので、来日客が大きく増える。この機を逃さず、日本のリサイクルについてPRし、資源リサイクルセンターにも訪れてもらいたい。

委員 万博公園を活用・利用することも検討されたい。

事務局 承知した。

委員 確認だが、「余った委託料は、施設サイン等の補修費用に充てることを検討してください。」との記載があるが、施設サインとは何を指しているか。

事務局 掲示物、看板等を指している。

委員 承知した。その費用も必要だが、限定せず事業者側で活用を検討できるような余地を残したほうが良い。例えば「余った委託料は、施設サイン等の補修費用やその他の何かに充てることを検討してください。」などだ。施設を良くするために使用できる余地を残したい。

委員 良い意見だ。確かに、限定して書くと、「それだけをやれば良い。」で終わってしまう。柔軟性を残して、自ら考えた上で、大事だと考えたことをやってもらいたい。

(2) 講評

委員 全員の意見を適切に反映した答申を活用して、より改善することを期待する。

委員 今回の答申を活用すれば、前に進むだろう。若い人がいれば、より良い場所になるはず。

委員 今後、より一層、若い人に取組内容等を発信してほしい。

委員 すぐに変えられないこともあり、苦勞していることは十分理解している。それも含めて、私も良い経験をさせていただいたと思っている。万博公園のすぐ横という良い立地なので、これを活かして、さらに発展していくことを願う。

委員 意見はたくさん言ったが、全体的には、かなり高く評価している。歴史ある施設だけに、いろんな部分でよく考えていると感じた。それをさらに魅力あるものにするべく、今後とも努力されたい。色々なものを取り入れ、時代を読む、時代の先を

読んでいくことが必要だ。	
9 その他	吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針第12項の規定により、議事要旨を公表